

平成29年度 事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日 平成 29 年 3 月 21 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '市設置型浄化槽整備事業' and '下水道の整備'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事業概要, 平成28年度末設置数 473基) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (申請書受付業務, 竣工検査, etc.).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '浄化槽規模', '世帯数', and '設置基数' from 27 to 31 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費) from 27 to 31 years.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business costs) comparing 28年度実績 (Actual 28) and 29年度事業費予算 (29 Budget) for items like '15 工事請負費' and '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation content of the fiscal year) with columns for 29年度, 30年度, and 31年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	市設置型浄化槽整備事業	事務事業No.	40701000121	所属課	下水道課
-------	-------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

【経緯】  
 旧岩瀬町を区域として、平成18年度より事業実施。翌19年度に桜川市全域に拡大して事業を実施している。  
 【事業開始時期からの状況】  
 事業開始年度(平成18年度)より市民からの要望が高く、現在に至っても設置計画基数に対する設置実績は、高い水準を維持している。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

市民から住宅の新築・改築、又は単独浄化槽からの転換に伴い、浄化槽の設置工事の要望がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

県補助金要綱により、窒素りん除去型浄化槽を設置しているため、設置工事に掛かる費用の6割を浄化槽本体が占めている。県要綱の改正により同じ高度処理型浄化槽である窒素除去型が補助の対象になれば、全体的な設置費用を削減することが可能である。しかし、窒素りん除去型のみを対象とする県の方針を転換する必要があるため、桜川市単独では、難しく市町村設置型浄化槽を事業として取り組んでいる市町村と連携し、県に提案していかなければならない。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	水路河川及び霞ヶ浦の水質浄化に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	水環境の保全、霞ヶ浦流域の水質浄化、地下水の汚染防止など、公衆衛生環境の保全の観点から市として事業を行う必要がある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	計画に対する整備実績が85%前後を維持しており、既に良い成果を出していると考えられる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	単独浄化槽や汲取り式からの転換を促進させ、環境衛生の向上や水質保全に寄与しているため、廃止・休止により悪影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため、統廃合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市設置型事業から個人設置型事業に計画変更し、維持管理を個人に移管することにより事業費・業務時間ともに削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者が明確で平等な機会があるため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	水質保全のためにも必要な事業であり、継続的な事業推進を図っていくが、設置後の維持管理を市で行うことによるコストの増加が懸念事項である。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="2">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
コスト																							
	削減	維持	増加																				
成果	向上	○																					
	維持																						
低下																							
国庫補助事業であり、国及び県の補助要綱に従って事業を行っているため、事業計画の変更にあたっては国・県からの承認を得なければならない。		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果																					
		コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>